

## 529その他の材料を起因物とする死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	小業種	労 働 者 規 模
1	2017	12	10~11	工場内にて、アクリル板（1300×1500×500）の足元を溶接中に、アクリル板が倒れかけたため、右膝をついて支えたところ、アクリル板が右膝に当たり負傷した。	27	5	11201	1～ 9
2	2017	12	16~17	派遣先のプレス機の前にて、プレス機のパネルを台車に降ろす作業中、1枚目のパネルを降ろし、2枚目のパネルを重ねる際に手を挟み、両手親指から手首にかけて腫れた。	51	7	170101	10 ～ 29
3	2017	12	20~21	被災者が製品冷蔵庫内でプラッターに乗車し、荷役作業を行っているとき、扉開閉用の紐が、プラッターのマストに挟まった。被災者はこの状態に気づいておらず、プラッターを後退させたところ紐が切れ、その反動で飛んできた紐が被災者の左目を直撃した。	47	6	10109	30 ～ 49
4	2017	12	15~16	本社工場屋外において、幅35cm・直径1.5mのロール状に巻いてあるコンベヤベルト（重量約700kg）を1人で所定の場所に片付けていた。その際、コンベヤベルトが横倒しになりそうになり、横倒しを防ごうとして倒れる方向に進入したが、支えきれずにコンベヤベルトの下敷きになり、右足の甲を負傷した。	25	5	10806	10 ～ 29
5	2017	12	14~15	洗浄作業を行うため、切断したガラスインゴットを2人でばらす作業を行っていた。切断したガラスインゴットを固定用専用板の端まで2人でずらす際、被災者がバランスを崩し、専用板の端からガラスインゴットがずり落ちた時に、鋭利になっていた	38	8	11303	300 ～ 499

				る切断面で負傷した。				
6	2017	12	10~11	マイナス15℃の冷凍倉庫内でカップアイスを袋に詰める作業に従事していた。朝から作業を開始し、午前の休憩時に手袋を外すと両手の指先が白く変色している事に気付いた。若干痛みはあったが、午後まで仕事を継続した。翌日、指先の痛みが消えず水ぶくれも出来てきたため病院を受診し、凍傷と診断された。	54	11	50101	30 ~ 49
7	2017	12	17~18	調理場で、左手にグラスを持ち、右手に布巾をもって、グラスの水滴をふき取り作業中、グラスが割れてしまい、右手の薬指を切ってしまう被災した。	62	8	140309	30 ~ 49
8	2017	11	19~20	出勤してキッチンに入った時、滑って転倒しガスコンロに手が掛かり湯切り用の鍋が倒れて、顔と体にお湯がかかった。	52	11	140201	1~ 9
9	2017	11	11~12	8番ホールのティグラウンド（レギュラーティ）で前の組のプレーを待っていたら、7番ホールでプレーしていたお客様の左バンカーからのアイアンショットが曲がり、右肩甲骨辺りに直撃した。痛みがあったのですぐに病院へ行った。	25	4	140301	100 ~ 299
10	2017	11	16~17	倉庫にて、1.5?の鉄バツカン（幅1.8m、奥行0.9m、高さ0.9m）内の廃棄物を選別中、中から取り出そうとした人工大理石の洗面台（長さ1.0m、幅0.5m、重さ20kg程）の縁を持って持ち上げ、左手をバツカンの縁に掛け踏ん張り、右手1本である程度まで引き出したものの手が滑り落下、洗面台とバツカンの縁に挟まれる形で左手薬指第一関節を骨折、裂創する。	58	4	150102	10 ~ 29
11	2017	11	11~12	作業場内で、商品を袋詰め中に右腕をひねり、痛めた。	54	19	10101	100 ~ 299
12	2017	11	12~	パイプ倉庫内にて積み込み作業中、300A塩ビパイプを天井クレーンにてトラックの荷台に積み込み中上手く積み込みが出来ずに、後方のあおりに掛かりはみ出して降ろしはみ出したパイ	43	7	40301	10 ~

			13	<p>プを手で押し込み荷台へ納めようとした際、パイプが落ち込みパイプとあおりの間に指が挟まれて切開、骨折する。</p>				29
13	2017	11	10～ 11	<p>置場で足場材を積み込み時、荷が崩れ足が挟まり左足を骨折した。</p>	27	5	30209	1～ 9
14	2017	11	16～ 17	<p>印刷用コートボール310g（材料）幅850mm×流1150mmの寸法を幅815mm×流910mmに断裁の為作業をした。1600枚断裁の予定でスタートし、100枚が1包装されている為重さは約30kgになる。最初の1包装を開梱し100枚を一度に持ち上げた時に肩を痛めた。改善、850×1150の寸法の紙は取り扱う材料の中で一番大きな紙寸法の為、今後は開梱後、半分の50枚で断裁するようにする。これにより肩への負担がなくなる。当初は休業がなかったが、後日入院することになる。</p>	56	19	10602	50 ～ 99
15	2017	11	14～ 15	<p>塩ビパイプ売場で、塩ビパイプ2M（VU管）が重量に耐えられず、棚から落下した。落下したパイプを売場に陳列するため、社員、技能社員、積み込みアルバイトの3名で作業している際、VP100が本人の足元に落下し負傷した。その日に病院へ行き、骨挫傷と診断された。</p>	54	4	80209	30 ～ 49
16	2017	11	16～ 17	<p>片付け作業をしようとしたところ、置場内入口の段差で躓き、よろけてしまった。その際バタ角にぶつかり、背中と首を痛めた。</p>	56	19	80409	30 ～ 49
17	2017	11	15～ 16	<p>駐車場の舗装工事において、鉄製のレーキという道具を使用して同所に敷いた高温のアスファルトを平らにならす作業中、底の厚い安全靴を履いていたものの、適宜高温の場所への出入を調整しなかったため、両足の裏部分に水膨れができる熱傷を負った。</p>	46	11	30199	10 ～ 29
18	2017	10	10～ 11	<p>工場では、割裁したサバの腹部から腹ワタを除去する作業中に、右手小指の爪の間にサバの骨を刺し負傷した。</p>	48	8	70209	1～ 9

19	2017	10	9~ 10	当該事業所において、昼食の魚を並べるために、クッキングシートを敷いたホテルパンを10枚互い違いに重ねてシンクとシンクの上に置いていた。それが落ちてきて咄嗟に足が出てしまい、足のすねに落ちた。1枚でも割と重たいので落ちてきたはずみで左足を捻挫した。	24	4	80209	10 ~ 29
20	2017	10	9~ 10	工場内の皮干し場で皮を干す作業をしていた途中で、皮をつるす金属性のフックで手を負傷した。重い皮をフックにかける時、掛け損ねて負傷した。	60	8	10807	1~ 9
21	2017	10	16~ 17	倉庫内にて尅のワイヤー硝子1枚をパレットから取り出しクレーンに吊り下げて自動切断機に積載する作業時に、パレットの固定が不安定な状態で木の蓋を取り外した際、5枚すべての硝子が倒れてきて、狭い場所での作業も重なり避けきれず左ひじ上を損傷する。	32	5	80109	30 ~ 49
22	2017	10	17~ 18	工場内の階段で二階から一階へ階段を下りている時、階段下の脇にガラスが立てかけてあった。置いてある事を知らずに、階段を下りていてガラスにあたり、ガラスが倒れた。倒れたガラスを踏んだ時に、足をひねった。	58	19	10902	1~ 9
23	2017	10	13~ 14	配送先にて荷物を降ろすため、トラックの観音扉を開けた際に内部に立てかけてあったコンパネが落下してきて、左足の甲に当たり負傷した。	40	4	40301	30 ~ 49
24	2017	10	1~2	ロングレール取替作業に従事するために線路内に立ち入ったが、上り貨物列車が接近してきた為、上り線線路脇に退避し、車両が通過するのを待っていた時、何らかの物体が飛しょうして、右顔面に当たり負傷した。	48	4	30104	10 ~ 29
25	2017	10	14~ 15	調理場で魚をさばいている時に、右手人差し指に魚のヒレがささり取れなかった。	41	3	140101	30 ~ 49
				外溝工事中、4t車の荷台から縁石（民地石17kg）を降ろす作業				10

26	2017	10	14～ 15	をしている際、手にはめていた軍手が荷台に引っ掛かり、縁石を左足に落としてしまった。	51	4	30199	～ 29
27	2017	9	9～ 10	店内惣菜部の厨房において、スチームコンベクションで焼きあがったハンバーグを作業台下に置く際、ミトンをしていない方の手で握り、右手の指をやけどした。	67	11	80209	10 ～ 29
28	2017	9	13～ 14	当社構内の屋内処分場にて、二重ガラスサッシを地図に置き、しゃがみ込んだ姿勢で、右手にゴム手袋をした上でハンマーを持ち、ガラスの破碎作業を行っていた、サッシの右端のガラスを破碎する際、力を込めハンマーを振り降ろしたところ、ガラスを割った勢いが止まらず、サッシに残っていたガラス破片に右手中指が当たり裂傷を負ったものである。	56	8	150102	10 ～ 29
29	2017	9	10～ 11	ペットボトル収集作業の為、ごみ置き場の扉を開けて足を踏み入れた時に、入り口付近にあったガラスの破片を踏んでしまい、左足かかと辺りに刺さり負傷したものである。	28	8	150109	30 ～ 49
30	2017	9	13～ 14	資源化施設にて、ベルトコンベア上の空きビンの選別作業を行っていた際に、軍手と厚手のゴム手袋を二重に装着し、割れた空きビンの破片を両手でかき集め収集箱に入れていた所、空きビンの破片が右手の親指の付け根に刺さり受傷した。	46	8	150109	30 ～ 49
31	2017	9	9～ 10	午前中に作業員の派遣先である当工場内にて、タマネギのボイル作業中、大きなボイル釜の機械から、茹で上がったタマネギをザルにあげる際、作業員が右足を滑らせ、尻もちをついた拍子に、釜に残っていたお湯が手首にかかり、負傷した。	42	11	10101	100 ～ 299
32	2017	9	9～ 10	当社作業場（第二工場二階）において、ブチル練り作業をおこなっていた際、板パレットからブチル材料を次の作業員が取りやすいように移動させていたが、ブチル材料がくっついて取れなかったため、左手だけではなく、右手を添えて取ろうとしたところ、勢いよく材料が外れ、右手に接触した。後日受診した	39	4	11502	30 ～ 49

				ところ、接触箇所を骨折していた。				
33	2017	9	10～ 11	被災者が3階廊下のサッシの養生材を剥がそうとし、仮置きで立てかけてあった硝子に手をかけめくった後に、1100mm×2400mmの硝子（1枚約60kg）が9枚（合計約540kg）倒れ右足が挟まれ負傷した。	50	5	30201	1～ 9
34	2017	9	16～ 17	1系焼却炉内において、焼却炉停止時の炉内清掃作業にて、ばいじんの堆積物除去作業をしているとき、煙道壁に堆積したばいじんの塊が落下し、作業員の背中に直撃した。肋骨、骨盤等の骨折、骨折により肺を損傷および倒れ込んだ際に火傷を負った。	34	4	150102	30 ～ 49
35	2017	9	8～9	150cmぐらい積み重なっている一段目のコンクリートブロックを、両手でつかみ足元へ降ろす際に、上から二段目のコンクリートブロックも引きずり落下させて、手の甲側の右手小指のつけ根付近にコンクリートブロックが強打して骨折した。	38	4	40301	10 ～ 29
36	2017	8	20～ 21	担当エリアの店舗にて、店舗のマネジメントや業務フォローの仕事をしているとき、店舗駐車場で、備品什器のガラス板（60×30）の搬入作業をしていた。3枚のガラス板を同時に持ち上げたことでバランスを崩し、3枚中2枚が床に滑り落ち、左足の甲を負傷した。そのときにガラスが刺さり、左足薬指に繋がる腱を断裂した。	36	4	80209	30 ～ 49
37	2017	8	17～ 18	工場選別棟内にて、廃棄物選別後、仮置きしてあるダンボールを専用車両に積み込み中、ダンボールの後ろにあったドアに気付かず、ダンボールを取って後ろ向きになったときに、ドアが倒れかかって腰に当たった。	22	6	150103	50 ～ 99
38	2017	8	10～ 11	本社工場内にて、FRP（強化プラスチック）板（1350×1500×30mm）をパネルソー上でカット作業中、位置合わせのため少し横に移動させたところ、手前へ傾き、そのままFRP板（約90kg）が落下し、底部が右足甲に当たり負傷し	42	4	10805	1～ 9

				た。				
39	2017	8	15～ 16	当施設内で、子供2名と、読む紙芝居を座って聞いていたとき、同じ施設内で別の遊びをしていた子供の投げた段ボール（16cm四方）が飛んできて眼に当たり、右眼を負傷した。	61	4	120109	1～ 9
40	2017	8	16～ 17	ペアガラス（80×210×1.8cm、30kg）を枠にはめ込む作業をしていたところ、枠とは逆方向にガラスが倒れてきたため、慌てて両側面を持って支えたが、支えきれず、ガラスは間に置いてあった脚立に当たり大破した。ガラス側面が切りっぱなしになっていたが、誤って強い力で側面を握り、両手を負傷した。	64	8	80209	10 ～ 29
41	2017	8	18～ 19	1FリサイクルBOXにて、リサイクル缶の回収をしようとBOXの中に手を入れたところ、割れたビンが入っていて、それを取り除こうとして掴んだとき、左手親指を切ってしまった。切った後、貧血気味で倒れ、膝を打ったとのことである。	43	8	150101	30 ～ 49
42	2017	8	1～2	3階改修現場において、硝子を取り外し、脚立を降りる際にバランスを崩し、取り外して立て掛けていた硝子に右手を掛けた際、その手が滑り、右手人差し指第一関節付近を負傷した。	47	8	30209	10 ～ 29
43	2017	8	10～ 11	個人宅で粗大ごみの運び出し収集作業中、ソファを相方社員と抱えて後ろ向きに歩き出し、続けて敷地内を歩いているとき、自分の周囲の障害物を確認するため上半身を左側に捻ったところ、左の脇腹と背中と腰に強い痛みを感じた。多少痛みがあったが、ソファを車に積み込んだあと、車での移動中に、呼吸をすると脇と腰に強い痛みがはしり、我慢できなくなってきた。	31	19	150103	50 ～ 99
44	2017	8	13～ 14	当社において、吊るされている豚の枝肉を洗い右に移動させようと、両手で枝肉を押していた時に、腰を捻り負傷した。	50	19	150105	30 ～ 49
45	2017	8	11～	当社構内作業場において、回収した産業廃棄物を投棄用コンテナボックスに積み込み作業をしていて陶器ゴミの突起部分に左	33	8	150109	10 ～

			12	手をひっかけてしまい左手を切創した。					29
46	2017	8	21~ 22	ドリンク場において、グラス洗浄時倒れたグラスを割れない様左手で支えようとしたのと同時に、グラスが割れてしまい指を切ってしまった。	22	8	140201	~	29
47	2017	7	13~14	選果場の現場で壁パネル貼り作業中、屋根から壁パネルを作業員が手渡しで降ろす作業をしている。屋根上の作業員が足場上の被災者へ渡す時に作業員の手が滑り、被災者はうまく受け取れず負傷した。	25	4	30201	~	29
48	2017	7	15~16	店内にて、洗い場で食洗機にグラス用のラックを入れて洗浄し、洗浄完了後ラックを取り出し運ぼうとしたところ、手を滑らせラックごと落とし、拾い上げようとラックを掴んだところ割れたグラスで左手小指を受傷した。	31	8	140201	~	29
49	2017	7	15~16	当本社敷地内の材料置場（倉庫）内でコンクリートガラ片付け作業中、誤って手を滑らせてしまいコンクリートの破片が右足首の薬指の付け根の上に落下した。	70	4	30199	~	29
50	2017	7	9~10	構内において、階下の作業現場で使用するPPロープ（長さ約2m）の束を持って階段を慌てて下りていたところ、PPロープが足に絡まって転倒しそうになったため、地面まで飛び降りてしまい（階段7段分、高さ1.7m）右足を負傷した。	48	4	50209	~	49
51	2017	7	17~18	店舗内より、店外バツカンへ解体したショーケースのガラス板を搬出作業中、別館前において上部にあげた時、ガラスが割れ、右腕に破片が刺さった。	36	8	80209	~	29
52	2017	7	7~8	第3工場豆腐の資材置場において右手にソフト豆腐用フィルム巻（4kg）と左手に2P豆腐用フィルム巻を両手に持って運搬用台車に載せようとした所、右手に持ったフィルム巻が滑り右足の小指の上に落とし骨折してしまった。	51	4	10109	~	299
				レストランホール内のシンクにて、コーヒーポットの残量計を					30



53	2017	7	8~9	ブラシにて洗浄中に誤ってガラス管を割ってしまい、割れたガラスが左手人差し指下側に刺さった。	32	8	140301	~ 49
54	2017	7	9~10	トラック荷台側面（現場入口付近）にて、平積みされた石膏ボードの横に立て掛けてあった石膏ボードを運ぼうとしたところ横立て掛の石膏ボード（14枚、約319kg）が崩れ落ちてきたため、避けられずに被災者の背中、腰にぶつかり受傷した。	31	4	30202	1~ 9
55	2017	7	23~24	店舗内洗い場で、食器洗浄作業中、洗っていたグラスを落としてしまい、その破片で左手中指を切るケガをした。	26	8	140201	10 ~ 29
56	2017	7	20~21	パレットの上に立っている原反（印刷4000m巻）をリフトに倒して載せる際、原反とリフトのアーム部分に左手中指を挟んでしまった。原反がパレットの上で滑ってしまいバランスを崩してしまった。	29	7	10701	100 ~ 299
57	2017	7	14~15	製造用設備のガラス器具を組み立てている際反応容器のふたに攪拌羽根を取り付けている時ガラス製の反応容器ふたが攪拌羽根に接触し、割れてしまい、右手小指を割れたガラスで切ってしまった。	31	8	11709	100 ~ 299
58	2017	7	8~9	ゴミ集積所に於いて、収集車両へ不燃物ゴミの積込作業を行っていたところ、パッカー内で破碎されたガラス片が飛散し、その一部が被災者の左眼に当たり負傷。直ちに作業を中断。ゴミ組成に由来する危険性（破碎後の飛散等）に対する予防策を講じていなかったことや、使用者側の安全教育不足等が当該事故の主原因と史料。	50	4	150109	50 ~ 99
59	2017	6	16~ 17	会社構内に設置してある廃材コンテナの中を整理している時、同僚が投入したタイル廃材が右手首に当たり怪我をした。	53	6	170209	1~ 9
60	2017	6	14~ 15	積み込み中、断熱材（約10kg）が滑り落ち、振り向き様に顔面（左目付近）に当たった。徐々に見え方に違和感を感じたので、2日後、眼科へ行くと左裂孔原性網膜剥離と診断された。	50	6	40301	30 ~

				これまでも何度も荷物が当たることはあった。				49
61	2017	6	7~8	魚を出荷するための氷を砕氷機に入れるため、移動させていたところ、誤って倒れて来た氷に右足を挟み、同部を負傷した。	50	4	70201	1~ 9
62	2017	6	11~ 12	当社工場内にて、組み立てたガラス入り障子（縦200cm×横90cm×幅4cm、重量約40kg）をトラック（1t車）に積み込み作業中、障子を両手で持ち上げて荷台に載せようとした時、右肩でブチブチと音がし、右肩が上らなくなった。	44	19	30309	1~ 9
63	2017	6	16~ 17	6tトラックを洗車している際、乗り降りするのに高さがあるため、踏み台としてプラスチック製のビールケースを使用していた。助手席側から降りる際、ビールケースに足をかけた時にビールケースが横滑りし、そのまま転倒し骨折した。	67	1	80209	100 ~ 299
64	2017	6	10~ 11	工場内において、ミキサー車のドラム内に付着しているコンクリートを研っていたところ、取れたコンクリート殻が落ちて転がり、左膝に当たってしまい打撲した。	54	4	10901	1~ 9
65	2017	6	13~ 14	工場内で、ブレーキランプの交換作業中に、新しいランプを取り付けようとしたところ力を入れ過ぎ、ランプが割れ、破片が右手掌に刺さり負傷した。	48	8	80202	10 ~ 29
66	2017	6	13~ 14	生産課小板ライン洗浄硝子受け取り台にて、テスト板で使用する型硝子（610mm×457mm、板厚5mm、重量3.5kg）を左側の台から右側の台にのせ換えていた際、両手で持っていた硝子が右側の台にのせた硝子のエッジ部分に接触し、破損し落下した。落下した際、硝子が左前腕内側の手首付近と中央付近に接触し、切傷した。	19	8	10899	100 ~ 299
67	2017	6	9~ 10	清掃現場である部屋にてベッドメイキング作業中、シーツをベッドの下に入れ込んだ時、右手中指が逆方向に曲がってしまい負傷した。	51	19	150101	100 ~ 299
				庫内（マイナス7度）において、1本135kg、高さ105cmの立つ				

68	2017	6	18～ 19	ている氷を横に倒す際、片足を滑らせ体のバランスを崩し、氷が右足を直撃した。安全靴を履いていたので足指先に負傷はないが、足の甲を負傷してしまった。	50	7	10109	1～ 9
69	2017	6	9～ 10	調理場内において、冷凍サーモンを移動する際、濡れた手で抱えた為、左腕を火傷し負傷したものである。	28	11	140201	50 ～ 99
70	2017	6	10～ 11	残反整理をしていた所に、残反（原反）が転がってきて原反と原反の間に挟まってしまった。	64	7	10805	10 ～ 29
71	2017	5	16～ 17	カウンターでコーヒーを作っていた際、誤ってコーヒーをひっくり返してしまい、右足の付け根にかかり負傷した。	32	11	140201	1～ 9
72	2017	5	3～4	店舗内厨房で、釜にあげた麺を取ろうとした際、伝票を見ながら作業をしていた為、手元を見ず行った為、誤って麺を湯がいている湯釜の中に右腕を約1/2浸けてしまう。	42	11	140201	30 ～ 49
73	2017	5	10～ 11	書類ごみの収集中、荷台の上で、ビンを専用の網かごに積み換えを行っていた。網かご中のビンを均そうとして、かごの中に右手を入れたが、割れたビンに気が付かなかったため、右手掌を切ってしまった。	29	8	150103	—
74	2017	5	9～ 10	粗大ごみ収集作業中、水屋筆筒のガラス戸を両手で外そうとした際に劣化したガラスが割れ、左腕に接触し負傷した。	40	8	150109	50 ～ 99
75	2017	5	12～ 13	施設から事務室へ向かう廊下を歩行中、床に置いてあった洗濯物の入ったカゴに足を取られて転倒し、左膝蓋骨を骨折した。	52	2	130201	10 ～ 29
76	2017	5	14～ 15	就業中、洗浄室にて食器が入っているシンクで大皿を洗浄している時、手を洗浄液の中に入れて大皿を掴んだ際、食器が割れている事に気付かず、右手中指を薬指の間を深く切ってしまった	60	8	80209	1～ 9

				た。				
77	2017	5	9～ 10	スライス機（5号機）の作業において、材料をリフター台にセットし、吸着装置にて材料をスライスラインにのせたが位置が悪く一度機械を停止し材料の位置決めをする際に、自分の手で手直しを行った。足場には踊り場が無く、足を踏み外しピット内に落下し、左肋骨骨折及び胸腹部打撲を負った。	54	1	10806	30 ～ 49
78	2017	4	16～ 17	被災者が飼料工場内を徒歩で移動中、飼料をフレコンバッグへ抜き取り作業を行うために置いてあったシートパレットが風で飛ばされるのを目撃した。風で飛ばされたシートパレットが、積み込み中の自車バルク車の方に飛んで行ったので走って追い掛け、シートパレットを左足で踏み付けた瞬間にシートパレットごと滑って後方へ転倒し、全体重が右足首に掛かり骨折した。	38	2	40301	30 ～ 49
79	2017	4	16～ 17	工場内で、裁断された硝子をもって、所定の場所に置こうとした際に躓いてしまい、右足首を捻挫した。	29	19	170101	100 ～ 299
80	2017	4	1～2	厨房盛り込み室にて手直しのお弁当を1個手に持ち運んでいたところ、手元に注意が行き、足元に落ちていた食材に気づかず踏みつけて滑り転倒し、左足首を捻り骨折した。	72	2	10109	100 ～ 299
81	2017	4	13～ 14	カウンター内でガラスコップを拭いている時にカウンターの上にあったガラスピッチャーを取ろうとして、誤ってガラスピッチャーを落としてそれが床に落ちるのを防ぐ為にとっさに手を出し、右手首をガラスピッチャーで切ってしまった。ピッチャーが落ちたとき、置いてあったコップにあたり破損し、右手首にあたった。	17	8	140201	1～ 9
82	2017	4	9～ 10	解体工事現場で解体作業中、建物の窓ガラスを取りはずし置いていた物をトラックに搬入する時、割れたガラスが落ちて来て右手首に当たり裂傷した。	39	4	30202	1～ 9

83	2017	4	13~ 14	店内洗い場にて洗い物をしている際、皿が落ちそうになり拾おうとしたところ、シンクにぶつかり皿が割れ、その破片が右手薬指に触れ受傷した。	30	8	140201	30 ~ 49
84	2017	4	13~ 14	ステイ清掃中に、ワイングラスの拭き上げを行っていたところ、柄の部分が割れて左手人差し指第一関節を裂傷した。	40	8	150101	100 ~ 299
85	2017	4	16~ 17	製品の置き場からユニック車の荷台に積み込みをしているとき、ユニックで製品（コンクリートブロック、約35kg）を持ち上げたまま荷台のブロックを整理し際に、挟搬機にしっかりブロックが固定されておらず外れてしまい、荷台を整理していた手の上にブロックが落下し負傷した。	54	4	40301	10 ~ 29
86	2017	4	16~ 17	所内にて作業中、ピアノ線を固定しているバンドを切断中に、ピアノ線がアゴにあたり負傷した。	21	6	10909	1~ 9
87	2017	3	11~12	加工場内において、真鯛の三枚卸し加工中、鯛の骨が指に刺さり負傷した。	55	8	80101	50 ~ 99
88	2017	3	1~2	リフォーム工事現場にて浴室解体作業中、1人でカー杯浴槽を引き上げようとした時、右肩からグジュと音がし、右肩腱板断裂を負った。	59	19	30209	1~ 9
89	2017	3	8~9	工場内にて分別作業中、はねた塩ビパイプが左肩に当たり、転倒した。	63	4	150109	1~ 9
90	2017	3	15~16	食品工場の3階資材庫にて、重さ約18kgほどの樹脂製パレット（110×110×14cm）の搬出のため、滑り止めの軍手を使用し両手で最上段（5段）のパレットを引き出そうとした時に、パレットの奥側が床に着いた衝撃でパレットを支えていた両手からパレットが滑り落ち、右足に落下して右足親指を骨折した。	43	4	10104	50 ~ 99
				当社作業場にて、ガラス（122×168）が30枚ほど立てかけて				

91	2017	3	10~11	ある保管用の木枠のケースから運搬用の鉄枠パレットにガラス3枚をクレーンで移動させようとした際、クレーンでガラスを持ち上げたところ、残りのガラスがバランスを崩し手前に倒れてきたため後ろにさがったが、後ろにあった鉄枠にぶつかり倒れてきたガラスと鉄枠に左足首がはさまり負傷した。同僚にガラスを動かしてもらい救急搬送された。	57	5	80203	1~9
92	2017	3	9~10	敷地北側の外壁ブロックを解体作業後、コンクリートガラを3tダンプに積み込んでいるとき、誤ってコンクリートガラと一緒に右手の薬指を挟んでしまい骨折した。	65	7	30199	1~9
93	2017	3	11~12	トラックにハウスを積んでハウスを荷締めする際、ハウスの上からラッシングベルトで荷締めしようとした時、あやまってラッシングベルトのフックがサッシのガラスに当たりガラスが割れてしまい、そのガラスを捨て場に運ぶ際、サッシごと持って5~6歩進んだ時、サッシ枠からガラスが落ち右大腿の内側に当たり15cm程切れてケガをしてしまった。	58	4	40301	50~99
94	2017	3	18~19	古床を保管している場所で、古床を養生しようとしたところ、高所から落下し足を骨折した。	43	1	11709	1~9
95	2017	3	9~10	工場内にて産業廃棄物の選別作業中に、雨天のため履いていた長ぐつで廃棄物を踏んだところ、廃棄物の中に隠れていたガラスの破片が、ゴム長ぐつの底を貫通して足の裏に刺さった。	43	9	150102	10~29
96	2017	3	16~17	事務所の置き場で資材の整理をしているとき、メッシュパレットに資材を降ろすときに左指を挟んだ。	43	7	30309	10~29
97	2017	3	9~10	電柱仮置場にて、電柱の積み下ろし補助作業中に、電柱の転がりを防止するクサビを取るため、すぐ横に二段積み（高さ90cm）された電柱の上を歩いていた際に、電柱が雨で濡れていたため、足を滑らせ後ろに倒れるときに電柱に右肘を強打し骨折した。	53	2	40301	1~9

98	2017	2	16~17	フレコンバック（セメント1t袋）作成作業中、フォークリフトにフレコン作成アタッチメントを装着して、セメント落とし口に固定セメント飛散防止用ゴムバンドを装着したが、ゴムバンドが外れてセメントが飛散して、左目にセメントの粉が入り負傷した。フォークリフト積載荷重3t。	33	4	170101	10 ～ 29
99	2017	2	12~13	被災者は、工場内作業場で自動車部品メーターカバーを取り付け作業を行っている際に力を入れ圧着した時に両手首に痛みを感じた。また、コネクタを結線する作業もあり、中指を痛めた。	41	19	11502	300 ～ 499
100	2017	2	18~19	おにぎりの具製造ライン包装工程で2名がオペレーター業務に従事していた。箱詰製品の結束機のバンド詰まりが発生したため、オペレーターAは製品の横取り作業を行い、一方のオペレーターBは結束機のバンド詰まりの対応に当たった。Bが詰まりを処置し復旧後、Aが箱入れ作業者の補助に当たるべく移動しようとしたところ、床上にあった結束機詰まり処置後の不要のバンドに足を取られ、勢いよく転倒し右膝を床に強く打ちつけた。	57	2	10109	300 ～ 499

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。